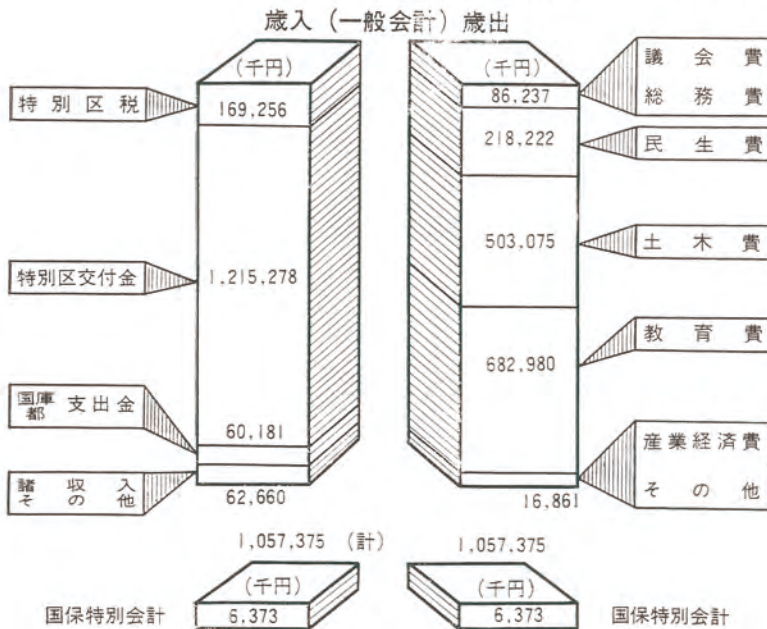


区議会だより

No 3

足立区議会事務局
☎ (882) 1111

昭和42年度補正予算(第2号)



- (当初予算との合計数)
- 生活扶助 17,850 (人)
 - ガードレール 7,100 (メートル)
 - 街路灯 (新設) 1,700 灯
 - 暗渠 2,403 (メートル)
 - 校舎増改築 167 教室
 - 学校プール 6 校
 - 学校体育館 (新設) 5 校

第2回定例会

補正予算など可決

6/28
7/11

昭和42年第2回定例会は6月28日から開かれ、区政に関する各党の質問、42年度一般会計補正予算(第2号)や足立区特別区税条例の一部を改正する条例、区立保木間小学校分校(仮称)新築工事請負契約ほか11件の契約議案など28議案を原案どおり可決し、さらに請願・陳情81件を議決して7月11日に閉会しました。

おもな議案は次のとおりです。

42年度一般会計補正予算(第2号)
この補正予算は総額15億7百37万5千円にのぼり、教育費の私費負担軽減費、生活環境整備、社会福祉の充実などを盛り込んだ編成で、42年度国保特別会計補正予算(第1号)を含め予算特別委員会を設置して慎重に審議を行ない、本会議で原案のとおり可決しました。

足立区特別区税条例の一部を改正する条例
障害者などの非課税限度額が24万円から26万円に引き上げられ、また延滞金の端数処理の簡素化をはかることになった。

足立区役所出張所条例の一部を改正する条例
第16出張所の移転にもなるもの。
新所在地―竹の塚二丁目25の17
区道の認定

○千住旭町地内、○新田二丁目地内(3件)、
○伊興町諏訪木・栗原町・伊興町大境地内、○伊興町見通地内、○竹の塚町地内

代表質問

代表質問は6月28・29日の2日間にわたって行なわれ、ほとんど各党から共通して区長的美濃部都政観が質問され、これに対し区長は、革新知事になったからといって区長の政治姿勢は変わらない。要は都民・区民の福祉を増進することであると答えました。

○自民党

五か年計画の今後の見通しについて 昭和42年度は計画の一部が予算化されたにすぎず、起債についても今年度はわずかである。今後の対策はどうか ▲今年度は計画の6パーセントが実施可能と考える。都区の財政調整では格差を是正するよう働きかける。

第二庁舎の構想について

住民基本台帳法案も近く成立すると思うが、これにともなう第二庁舎の組織再編成の構想はあるのか。 ▲第二庁舎は老朽化しているのので住民基本台帳法が実施されたら組織と庁舎について検討する。

ボランティア活動等について

保育園の適正配置と心身障害児(者)の対策はあるのか。また民生行政にボランティア組織を導入できないか。 ▲保育園の適正配置は十分配慮している。身障関係、ボランティア活動については十分援助するつもりである。

準要保護世帯の扶助費について 就学困難な世帯に扶助制度がある。この認定を各学校で行なうのが問題はないか。

▲将来福祉事務所で認定するようになると思うが、校長には都の基準を理解してもらっている

○公明党

植樹運動について 今後の植樹計画はどうか。足立の木を選定公募する考えはないか。

▲植樹の予算が議決になってから詳細な計画をたてるつもりである。



幼稚園・保育園の設置について

求は強く学校の空き教室等を利用すべきだ。また保育園については全地域に平均しているか。

▲現況は保育園増設で手いっぱいだが、空き教室利用とともに恒久性が必要で、今後その方向で検討したい。

PTA費負担軽減について

PTA費軽減のため、都から2億円がきている。この分配にどんな通達を出しPTA費はどの程度に減るか。

▲普通会費と賛助会費の値下げのプランスが違っている。今後都の指導方針に沿って三割減少を期待している。

北千住駅の今後について

地下鉄9号線の乗り入れも近いが、

駅前拡張の構想もっているか。

▲駅前広場の拡張は必要である。地下鉄9号線の工事とにらみ合わせて、事業促進を都に要望してゆく。

○社会党

区長公選運動について 区長公選は世論の支持を受けている。区長会と区長自身の考えはどうか。

▲区長公選は本筋と考えるが、区長自身のことなので、積極的に議論されていないのが現状である。

江東地区開発について

格差是正のため江東地区開発促進連盟の大会を開き都政改善に努力すべきであると思うがどうか。

▲今年は道路網の整備を目標としている。議会側と協力してゆきたい。

子どもの遊び場と私道整備について 空地を買い財源を今すぐ確保すべきだ。私道も主要通路の場合は区で補助すべきと思うがどうか。

▲町に空地があれば積極的に進めたい。区道の整備がおくれているので今のところ無理である。

東武大師線撤去について

運輸審議会から廃止に同意を求められた場合、区長の態度また代替バス料金引きの可能性についてはどうか。

▲運輸審議会から区長の意見を求められても、議会が廃止反対の意見書を出す段階ではわたくしとしても賛成とは言えない。

各党予算要望

予算特別委員会で各党から次のような要望が出されました
自民党

保育園の適正配置、教育扶助の公平、主要河川の防災対策、来年度予算の格差是正などに努力されたい。

公明党

堤北の未開発地域の予算が不十分である。児童生徒の増加対策を講じ、また災害対策予算の増を計りたい。

社会党

財調作の拡大をはかること。工事請負契約では超過負担解消に努力し、五か年計画の予算を十分措置すること。

幼稚園の建設を進めること。請願・陳情採択分については予算措置に努力すること。

共産党

長期的な用地取得計画立案、夜間保育の検討、地域図書館等の建設、子どもの交通対策、私費負担の解消、指名競争入札の改善、区財源の確保などに努めること。

○共産党

私費負担軽減の見直しについて
今回の補正予算に2億円計上されたが、具体的には、一人当たりいくら上わ積みされたのか。

▲昭和41年度の予算に比べ小学校では2千8百90円の増、中学校では一万9百74円の増である。

区立小学校運営上の問題について
某小学校長の暴行事件についての事

後処置と、校長の昇任基準はどうなっているのか。

▲教頭は3年で校長試験をうけることができる。事後処置では本人に注意を与え、都でも指導した。

公債発行と今後の展望について

公債発行が本年度は7億円を申請中と聞いているが、将来当区は数十億の赤字をかかえこむことにならないか。

▲起債の償還については経常経費の

中で都が元利とも財政調整でみていく。

交通安全施設について

安全施設計画、狭い道路の安全対策、みどりのおばさんの増員、学童の登下校の事故の補償等の対策はどうか。

▲通学路の整備を計っている。みどりのおばさんは増員を要望している。また、事故の補償は学校安全会の規則に従って処理する。

自治大臣、運輸大臣、都知事あてに次のような意見書を提出しました。

昭和27年地方自治法の改正により区長は区議会が都知事の同意を得て選任することになったため、地方自治の退化を憂慮して23区は地方自治の伸展と住民福祉の増進をはかり、自治権拡充運動を果す目的をもって当局に意見書を提出し運動を続けてきましたが、40年に一部事務事業の移管と、その税源の配分が一部明確化されたに

特別区区長公選制度の実現

とどまり、区長公選制の実現は達せられず今日に至っていることは誠に遺憾であります。

地方自治制度確立のためには、区長公選制の実現と大幅な事務事業の移管・税源の再配分等が要求されるものであります。現在世論の動向も区長公選制を強く支持しこれが実現をはかれるよう望むものであります。

意見書 (要旨)

東武鉄道大師線廃止反対

都内の交通緩和対策として都市計画街路のうち本区の中央を東西に走る環状七号線は、外郭環状線として重要な路線であります。このたび同路線の建設にあたり、大師線の廃止内定を聞きおよびました。このことは住民の生活上大きな脅威となり、このため利用者等の廃止反対の声は高まり、本区議会としても憂慮しているところです。当地域には高等学校を含む公共施設が多く、公団住宅・民間住宅の建設も進み、今後も新しい町造りを推進する

るため区画整理事業も進み、利用率は上昇しております。当地域には観光の中心である西新井大師があり都民の憩いの場として親しまれ大師線には数方の参拝者がこの線を利用しております。大師線が廃止されますと本区伸展の障害となることは明らかで、利用者の便を確保するうえからも廃止には強く反対するものであります。

委員会区内視察



中川堤防を視察する災害交通対策特別委員

議会の各種委員会では、今後の区議会活動の資料とするため区内の各種施設の現状や将来の予定箇所を7月17日から7月31日にわたり視察を行いました。

- 7月20日 土木委員会
- 7月25日 総務委員会
- 7月26日 災害交通対策特別委員会
- 7月27日 建築委員会
- 7月28日 都市計画特別委員会
- 7月31日 区民委員会

請願・陳情



- 竹ノ塚団地内、千住柳町地区、足立二・三丁目地域
- 区道認定(3件) 中央本町四丁目11番先、綾瀬一丁目28番先、綾瀬三丁目5番8号先
- 学区路の安全確保(2件) 加平小・栗原小および東島根中、中川小
- 道路舗装とU字溝設置(7件) 綾瀬一丁目地先、六月町27番地先、西新井六丁目5番先、上沼田町93番地先、西新井町1千472番地先、都営竹の塚団地東側の区道、本木中堀暗渠改修区間
- 西新井町1千245番地先排水溝設置
- 綾瀬一丁目地内旧農道および水路改修
- 保木間堀暗渠化工事促進と歩道橋
- 大谷田町570番地先道路暗渠化
- 区立高野小学校学級増と教員充足
- 区立江北小学校分校設置
- 区立栗原小学校万年べいの再設備
- 屋根付渡り廊下四か所設置(千七小)
- 区立小中学校増改築(4件) 弘道小、千七小、十一中、十中
- 学童交通擁護員増員(2件) 伊興小、亀田小
- 区立中学校校庭整地(2件) 九中、十一中
- 区立舎人小学校排水溝設置
- 不採択分
- 西新井、赤羽間バス路線新增設、被爆者の援護
- 盆おどりの補助金交付
- 失業保険改悪反対
- 区立心身障害児(者)福祉センター設置
- 学童保育所設置(3件) 新田・鹿浜・沼田地区、湖江小とその学区内、保木間小
- 保育所設置(2件) 東綾瀬地区、東和・中川地区
- 区立綾瀬保育園の増設促進
- 区立本木保育園改築
- 区立保育園の時間外保育(2件)
- 失対労務者賃金値上げ
- 失対労務者夏季手当支給
- 失対労務者交通費区費負担
- 失対労務者の有給休暇
- 失対労務者互助会に助成金支給
- 失対労務者箱番の増改築等
- 失対労務者待遇改善
- ガードレール設置(3件) 第十中 校門先道路、高野小正門前、青井4丁目37番先
- 湖江中校門前の道路舗装
- 湖江中完全給食実施方要望
- 湖江中教職員の定数確保
- 区立中学校一学級二名の担任教諭確保
- 教員に事務服等支給
- 事務職員の超過勤務手当増額並びに臨時事務職員の採用
- 産休補助職員の採用
- 教育扶助基準引き上げ
- 区立伊興小学校給食作業員の増員
- 区立栄養士各校一名配置
- 学校安全会掛金全額区負担
- 教職員研究費増額
- 舎人小プール施設改修
- 舎人小プール施設改修
- 第十中の校庭整備
- 教職員住宅建設促進
- 境界線変更(足立区・葛飾区)
- 第十三出張所分室設置
- 福祉事務所並びに老人福祉施設等新設
- 健康保険に関すること
- 健康保険改悪反対
- 日雇健保を含むすべての健康保険の改悪反対
- 公害に関すること

- 採択分
- 都市計画街路91号線の事業化促進
- 東武大師線廃止反対
- 千住柳町13番地区有地に防火貯水槽設置
- 児童遊園・児童公園の設置(5件)
- 足立区職業訓練所跡、島根付近

特別委員会委員の一部変更

今回の定例会で次の委員会委員に一部変更がありました。

都市計画特別委員会

〈選任者〉田口三五郎、鐘ヶ江直光、

清

災害交通対策特別委員会

〈選任者〉近藤信好(辞任者)黒田

黒田清(辞任者)小林三四郎・八田正和・近藤信好

お 知 ら せ

区議会だよりの編集委員が次のよう

にきまりました。(◎委員長・○副委員長)◎鈴木武次・○白村益治郎・藤木二幸・白石恭三・細井宥司